

◎副市長（井田正一君）

まち・ひと・しごと創生総合戦略の御質問にお答えをいたします。

初めに、第1期総合戦略の進捗状況についてであります。

総合戦略には、大項目として、人口の社会増、合計特殊出生率、市内従業者数、観光入り込み数、それから、住みよいと感じる市民の割合、この5項目について成果指標を設定いたしております。

まずそのうち、人口の社会増と合計特殊出生率につきましては、既に目標値に達しております。

市内従業者数につきましても、ほぼ達成であり、また観光入り込み数につきましては、目標の約9割となっております。

残る住みよいと感じる市民の割合、これにつきましては、現在実施をいたしておりますアンケートの調査結果待ちという状況でございます。

これら5つの大項目にあわせまして、総合戦略には具体的な成果指標として41の項目を設定いたしております。

その41の達成度合いであります。昨年度までの4年間で、41項目のうち17項目が達成をいたしており、10項目が8割以上の達成状況、残る14項目が8割未満の達成状況という現状でございます。

このうちの達成度割合が8割未満の項目につきましては、合同就職説明会への参加者数やスキー場の入場者数など、社会情勢、あるいは個人の嗜好の変化等から、なかなか達成が難しいという項目もございます。

しかしながら、計画満了まであと半年ございますので、可能な限り達成に向けた取り組みを引き続き実施してまいりたいというふうに思っております。

次に、第2期となります次期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定についてでございます。

国は、先ほど議員申し上げられたように、本年6月にまち・ひと・しごと創生基本方針2019を閣議決定しております。具体の策定を本年12月というふうにしております。

示されたこの国の基本方針は、第1期の目標でございました「東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保する」という点が、まだ未達でございます。そういうことから、第2期も引き続き第1期の枠組みを維持するとともに、新たな視点として、「地方へのひと・資金の流れの強化」、あるいは「誰もが活躍できる地域社会の構築」といった点など、6つの視点を加えるというふうにしております。

本市といたしましては、こうした国の方針を踏まえ、既に策定作業を進めており、第1期の4年間の検証と、現在実施中のアンケート調査の分析結果を新たな2期の総合戦略に反映したいというふうに考えております。

また、1期に引き続きまして、子育て環境の充実強化、健康づくりの推進、働く場の

創造など、住みよさや活力の向上に資する施策を中心に、重点的に取り組む内容にしたいというふうに考えております。

加えまして、これらの推進に当たっては、ソサエティ 5.0、あるいはSDGsの視点を十分に生かし、未来社会に対応できる総合戦略にしたいというふうに思っております。

なお、策定の時期でございますが、今年度中の策定をできるように、今作業を進めているところでございます。

以上です。